

2019年度 第1回 MCT放送番組審議会

日 時：2019年6月7日（金）午前10時30分～

場 所：サン・あもり会議室

出席者（敬称略）

（番組審議委員）

山崎 亨 山内 庸子 本田 達郎 大山 隆弘 野村 和人 古川 理沙

（MCT）

山口 俊樹 高山 美智子 岸川 真也 久富木原 章裕 小松 真也 中村 有佐 豊倉 哲也
溝口 浩平

（書記） 脇園 京介 永奥 里奈

番組審議（1）2019年4月22日放送「パイナップルつばさのわっぜかTV」より

- ・GW特集（ツーリング）台明寺溪谷公園、アオミカフェ、城山公園
- ・広報あいら
- ・エンタメ情報GW！ドライブにおすすめのCD

（2）2019年5月20日放送「ジミー入枝のそいじゃが！ケーブルテレビ」より

- ・霧島ふるさと大使決定
- ・中須西自治会大運動会
- ・県議会議員インタビュー 山田氏、酒匂氏 ほか

（3）その他（今後の審議委員会についてなど）

山崎委員長

MCTは公共の福祉の増進、文化の向上、産業と経済の繁栄に役立つようなメディアとして社会的な使命を背負っています。そんなケーブルテレビが霧島市・始良市にあるということが住民の私には幸せに思います。

メディアは人と人の心を繋ぐ大きな力になります。MCTは私たちの財産だと思います。

MCTが全国の中で一番魅力があって地域に愛されるメディアであるという事を強く心に銘じて番組審議委員長としてこの席に座らせてもらっています。番組審議会は楽しく明るく夢を語り社員の意識改革や意識向上につながって、さらに大きくMCTが発展するような役目を担っています。

す。今日はみなさんと一緒に夢を持てる番組審議会にできればと思っていますのでよろしくお願い致します。

では早速審議に入りましょう。「わっぜかTV」はまずMCに女性が一人増えましたね。以前より少し変わったという風に印象を受けました。逐次ケーブルテレビは中身が様々な面で前進しているというように感じます。

皆さんにはそれぞれの視点があります。MC Tは全国版の局とも他民放局とも違う立場にあります。「地域の人たちに喜ばれる、役に立てる番組」という視点が我々の根本にあるのではないかと思います。番組を見て頂くために魅力もなければなりません。

視聴者も増えて加入者になる人も増えていくように思った所、良い面・悪い面、様々な意見を出し合ひましょう。

「わっぜかTV」からご意見をお願いします。

本田委員

女性の赤塚さんがMCとして出演し始めてからつばささんとの息が徐々に合い、良いコンビになってきていると感じました。では各コーナーで気付いた事を申し上げます。

GW特集（ツーリング）についてです。バイクで走るシーンが車内から後ろを撮影した映像ばかりだったので疾走感がある映像が欲しかったと思いました。走りながら会話しているのは良かったですがカッコイイ映像が少しあっても良いのではないかと思います。

次に、MC 2人のワイプから聞こえる雑談や感想ですが、通常民放局の番組では、ワイプからは声は聞こえないですね。本編とワイプの雑談や感想、ツッコミが聞こえてくるのが変わっていると感じました。声が邪魔にならないかと思いましたが、合いの手みたいに良いタイミングで聞こえて本編で不足している情報を補いながらだったので面白いと思いました。

あとは細かく言うと、美女ライダーが登場した時に風に吹かれて髪の毛が顔にかかっていたので配慮があれば良かったです。

アオミカフェではいきなり裏メニューの紹介だったのでレギュラーメニューも紹介してほしいです。

スタジオの場面では会話しているMC 2人の姿勢が気になりました。頻繁に体勢を変えるのでゆったり座れるものが良いのではないかと思います。

また机上の飲み物のグラスが中途半端に上部分だけ見えているのが気になりました。

見えるようにするか、隠すかのどちらかにすべきだと思います。

大山委員

ツーリングのVTRは台明寺溪谷公園から始まりアオミカフェ、城山公園と点々としていたのでエリアを決めてピックアップしてほしいです。台明寺周辺には青葉の竹笛があるじゃないですか。牛若丸はご存知ですか。すごく歴史的な所で、取材すればたくさんの情報が出てきますよ。

「台明寺周辺には何があるのか。」エリアを絞って周辺を取材した方が面白いのではないかと思います。

ます。台明寺は夏にオススメのように思いますので時期的にも少し早かったのではないかと感じました。

また行政のVTRは「広報あいら」と「広報きりしま」を一緒にすれば良いのではないかと思います。制作時間の問題もあると思いますが。

小松主任

月に1回、一週間ずつ放送しています。

大山委員

週を分けずに放送すれば視聴者もチャンネルを替えないと思います。始良の人も霧島の人も見ていると思いますので。

それと赤塚さんの目線が気になりました。椅子の問題もあるだろうし、原稿の問題もあると思いますがテレビの向こうで視聴者は見ているので原稿を読む時は前かがみにならないように気をつけたほうが良いと思います。

「ジミー入枝のそいじゃがケーブルテレビ」はジミー入枝さんを活かしきれていませんね。彼はミュージシャンなのでそれを活かすべきです。「今週の一曲」でも歌ってもらうのはどうですか。

山内副委員長

つばささんもやはり赤塚さんがいらしてから良い掛け合いが出来ていると感じました。MCTは年配の方が多く見られていると思います。年配の方たちは若い人たちはどんな姿勢でいるのかと気になると思います。体育座りのような姿勢になっているので、2人とも手持ち無沙汰だと思いますよ。気になってそちらに目が行ってしまいます。

「広報あいら」については「広報きりしま」も一緒にすれば同じ時期に同じものを見られると思います。

大山さんは台明寺をよく御存じですが始良の方たちはあまり知らないのではないのでしょうか。バイクで走ったコースは視聴者はよく分からないのではないのでしょうか。ルートマップがあればもっと良かったです。アオミカフェもいきなり裏メニューが出たのでやはりレギュラーメニューを見たいと思いました。行ってみたいと思うような映像があれば良かったと思います。

MC 2人の掛け合いは中身が充実してきて面白くなってきていると思いました。

古川委員

回を重ねるごとに良くなってきていると思います。意見を言うのも徐々に難しくなってきました。MC 2人の掛け合いはとても良いと思います。原稿のバインダーの裏にパイナップルが見えて小細工があって面白いと思いながら見ていました。

皆さんがおっしゃったMC 2人の姿勢ですがはじめは気になりませんでした。ですが、言われてみれば確かに気になりますので次回から気を付けていただければと思いました。

台明寺の住所はテロップで出ましたが詳しくは分かりづらいので目印になるような所を通して大体の場所が伝わるようなバイクのカットがあれば良いと思いました。

台明寺には歴史的な話があるのですよね。大山さん。

大山委員

青葉小学校の名前の由来は青葉の竹笛というのがありまして、義経の時代ですよ。国分隼人は都と繋がりがありました。その時代に国分にはとても良い竹ができるという話があって、台明寺は寺です。修行僧が200人程いたらしいです。全体が寺で、もともと寺の名前が地名になっているらしいです。寺の僧は都から修業に来ているわけですよ。この霧島・国分にも。そのぐらい大変大きなお寺があってそこにある青葉の竹がとても良い笛ができると。牛若丸が京都の大橋で弁慶と会いますよね。物語かもしれないですが笛をもっていますよね。それが青葉の竹笛ですよ。だから青葉小学校なんです。それが台明寺なんです。今でも竹は生えています。ただ笛を作れる人はもういないみたいですが。

そういった物語、歴史など繋がりががあるのでスポットを当ててそういう視点で取材しても良かったかもしれないですね。金剛寺はご存知ですか。国分高校前に金剛寺駅というのがあったのですがそれも今の人たちは知らないですよね。鹿屋まで線路が続いていて。SLが走っていたのですが銅田駅は皆さんご存知ですか。あそこは廃線跡なんですよ。

金剛寺駅には即身仏がいらっしゃいます。国分高校、国分小学校は島津のお城の跡ですよ。義久さんが作った城跡ですけど国分平野の舞鶴城を居城した東の最果てに金剛寺があります。そこを線で引いたら隼人のAコープの奥にも即身仏がいらっしゃって、東と西の結界を島津義久さんの城下を守るために入室されて、今でもそのミイラがありますよ。

金剛寺は寺の跡ですからね。廃仏毀釈の名残で鳥居がありますけれども。

国分の町はちゃんと碁盤の目に作ってあります。それは縄張りでも明の時代の風水でちゃんと計画された都市なんです。

過去を知るという事は地域に誇りを持つという事なんです。知っていて損はないですよ。

自分たちが通っていた小学校、または住んでいる地域はどういう物語、歴史があるのだろうかとかみんなが知らない事、自分たちの祖先がどのように街づくりをしてきたのかを知ればもっと地域に愛着が湧くのではないかと思います。

古川委員

私もぜひ知りたいと思いました。やはり地域に愛情を持ちたいので。

今私が頑張っているのは国連のSDGs(Sustainable Development Goals)「持続可能な開発目標」を少しでも広げる事です。山や川に行った時、ゴミを見た時に少しでもSDGsのマークを見たことがある人を増やすだけでもいいし、意味を知っている人を増やすだけでもいいし、その繰り返しや積み重ねで意識は変わっていくと思います。MC Tの主な視聴者は子どもや年配者だと思うのです。私が自分の子どもに対して口酸っぱく言っているからでしょうが、プラスチック問題の

事を言うと子どもたちは一切コンビニでペットボトルを買わなくなりました。

「わっぜかTV」は面白い番組ですが歴史や未来に対しての芯が一本通っている物になると更に価値が上がっていくと思いますので検討していただきたいです。

アオミカフェについてですが裏メニューは普通の人には食べられるのか分からなかったので言葉の選び方を考えれば良いと思いました。

「広報あいら」については素晴らしいなと思いました。というのも編集部は凄く労力や予算をかけて作るのに見ない人が多いですよね。既に価値がある物に気付いていない人たちに目を向けさせて本来ある価値を発揮させるという意味で二重三重の視点からそこに目が向くようにしているので価値があると思いました。私も見たいと思いましたのでどこで貰えるかが分かれば良いと思いました。

番組最後のインスタとツイッターをやっているという一言は良いと思いました。

1000人目指していると言っているので今何人いるのか気になり視聴者がアカウントを見に行くとします。

野村委員

「わっぜかTV」はオープニングの映像があって前にも言いました通り格が上がっていると思います。中身もコアな情報になってきていると思いますし。

皆さんのおっしゃった歴史的な部分の話もそうですが、今回はGWということでこのような編集になっていると思います。しかしバイクでしか行けない場所なのか、バイクだから行くのか、その点の違いが良くわかりませんでした。最後につばささんが「車でも行ければ良いのにね。」と言っていたのが矛盾していて気になりました。車でも行ける場所なので。

「広報あいら」については「次週は広報きりしまを放送します」と情報を出せば視聴者も困惑せずに済むのではないのでしょうか。

山崎委員長

「ジミー入枝のそいじゃがケーブルテレビ」はどうですか。

本田委員

幅広い年齢層に情報を届けたいという番組コンセプトということで確かにその通りだなと思いました。京セラの御輿の展示の話題や稲荷神社の祭りの話題など、こういうイベントしているという情報が知れて新鮮味がありました。中学生向けの地元企業紹介の話題は子どもたちに興味を持ってもらう良い催しだと思いました。地元に残すという意味で大事な事だと思います。

最後に地域の情報を募集しているという文言がありましたが、電話番号だけでは問合せしづらい視聴者もいると思いますのでメールやSNSで求める事も必要ではないかと思いました。

古川委員

「ジミーさんの個性が活かしきれていない」という部分ですが、どうしてこの方がMCなのかという思いが第一印象でした。いつも好意的な意見をくれる方なのでジミーさんの事をもっと知りたいと思いました。霧島ふるさと大使の中に私の教え子がいてびっくりしました。しかしその映像で顔の映り方に違和感がありました。カメラの広角と望遠を使い分けた方がいいと思いました。番組最後の視聴者に対して「告知しませんか」という言葉は良いと思いました。ただ私も電話が苦手なのでSNSで「この話題の取材に来てください」という意味合いのMC T専用のハッシュタグがあれば良いと思いました。イベントや祭りの告知は終わった事を報道するより事前に知る事ができて自分も参加するためにスケジュール調整できるので良いと思いました。事前にイベントの情報が告知されていけば行く人も増えるから良いと思います。

野村委員

県議選について他の方も喋る機会があるならテロップで情報を出すべきかと思います。あとは湾奥の話題は以前私も参加しましたが、水質改善についての話があったと思います。もう少し内容に触れても良いのではないかと思います。夏祭りの話題は昨年取材された映像を今年も夏祭りの前に放送して参加者を募ると良いと思いました。

山内副委員長

県議会のインタビューはどういう質問に対しての答えなのかが分かりませんでした。質問の内容をテロップで出してほしいと思いました。この週に出演された方以外の当選者もいらっしゃるから次回は誰が出るのかの案内もあればよいと思いました。あとは錦江湾湾奥会議で4市の市長が出ていらしたのでどなたかのコメントが欲しかったです。とても貴重な会議で市民はあまり知らないのももう少し中身を詰めてほしかったです。

古川委員

世代によっては市長や議員の方の顔と名前が一致しない人もいるから分かるようにした方が良いと思います。

山崎委員長

みなさん様々なご意見ありがとうございました。それではこれから今後番組審議委員会の在り方について意見を出し合えればと思います。私は先日、九州ケーブルテレビのコンテストに審査員として出席しました。このMC Tが取り上げる番組は様々なジャンルがあります。この番組委員会ではある期間の指定された番組をDVDで見て審議していますが、そうではなく、ある期間の番組の中でレギュラー番組と特別番組を委

員会の人に見て頂いて審議する方法もあるのではないかと思います。それではみなさんご意見お願いします。

大山委員

タイムリーな事、今後起こる事の予測ではないですが、やはりメディアの在り方は地域を盛り上げる事だと思います。

霧島市がこれからやらなければならないのは、来年オリンピックが日本であります。国体もあります。高校総体も行われます。今考えるべきはスポーツですよね。霧島で行われる国体も盛り上がると思います、地域住民が一体となる意識を持って行わなければなりません。

スポーツという一つのキーワードで「地域を盛り上げる」、「国体を成功させよう」という意識を「行政がするから」という考えではなく市民と一緒に考えられるような番組作りができれば良いと思います。

古川委員

私たちは毎回放送が終わった番組に対して意見を言っていますが、番組企画の時点で意見が言える機会がもし今後作れるのであればしていきたいと思いました。

山崎委員長

私たちは指定されたレギュラー番組について審議をしていますが、MCTはまだ他に様々な番組を制作されています。他の番組についても自由に審議できる番組審議会にしても良いのではないかなという考えもあります。

山内副委員長

それぞれが気になった今放送している番組や過去放送の作品に対して意見を言うのも良いのではないかと思います。

大山委員

番組を制作される時に「こんな番組を作りたい」というのがあれば聞いてくれれば良いと思います。

例えばガストロノミーの話題ですとか。地域住民の方でもやはり地元の歴史、観光、産業、生活環境、人、もの、知らない事が多いです。分からない事があればその点も含めて聞いてほしいです。

山崎委員長

本田さん、企業的な立場で番組審議会のやり方を変えようと考えていますが、この発想に対して何かご意見はありますか。

本田委員

この番組審議会しか存じ上げないのですが、FMきりしまの番組審議会では私は取締役として制作側でご意見を頂いています。出張で東京に行った際、朝方目が覚めてテレビを点けると各番組が番組審議会を放送しています。形式的には制作したものに対して意見を出し合うという我々がしているような審議と殆ど変わらず、在り方についても同じだと考えています。

ただ、先ほどから出ているように独自性と言いますか、後出しでの意見ではなく制作時点での意見を出し、視聴者に対し地元にあって周りからは注目されていても地元住民は知らないというような事にならないための番組作りをしていただければと思います。そういう意味で参考意見として聞いていただいて番組制作に役立てていくという事は必要だと思いました。

また主旨と違うかもしれませんが、FMのパーソナリティにも言える事ですが、常識的な部分で間違った事を言った時にカバーしきれないようにスタッフ側も知識や世間の情報に対して敏感にならなければならないと思います。

山崎委員長

野村さんは何かご意見ありますか。

野村委員

それぞれの番組が少し見えてきました。今まで全国に向けて作った番組なのか、地域に向けての放送なのか、何の情報を発信したくてこの番組を作ったのかという目的が分かりませんでした。経営者ではないのでそこまで分かりませんが、MC Tの番組全体を見られるタイミングがあればMC Tの応援隊になれるのではないかと思います。そうすれば今までのような過去の話をするのではなく前向きで夢のある話ができるのではないのでしょうか。

山内副委員長

みなさん報道に関する仕事をされていると思いますが各新聞社との連携などはできないのでしょうか。

岸川課長

現場レベルでの話はありますが社を通しての共同番組の話などはありません。

山口社長

過去に提案をした事がありますがそのような事はできないとのことでした。新聞社は民放局と提携していますので。

山内副委員長

番組での話ではなく情報を共有するという意味でそういう機会があれば良いのかと思いました。地元にいる人と外から来た人では認識の違いがありますので、報道で使うという事ではなく新聞社や他局に対し「会社に顔を出してもらえませんか」や「楽しい人はいませんか」など現場で話を聞くことはできませんか。

山口社長

それはあります。先日も取材を受けたりしたのですがそういった話は頻繁にあります。

岸川課長

現場レベルではあります。

山内副委員長

三者三様あるので皆さんがそういった気持ちでいらっしゃるのであれば相手方もそういう気持ちになるでしょうね。

大山委員

ケーブルテレビもありますし、民放局各社も様々ありますが媒体は違えども我々はメディアなので協議会が作れば良いですね。

山崎委員長

今お話されていますのは具体的な内容ですのでこの番組審議会をどういう風にしていくかという視点でご意見をいただければと言う事をご理解していただければと思います。

私から提案します。ケーブルテレビのスタッフと審議委員長が事前に暫定的に「今回はこういう話をしましょう」という風に次回はさせて頂きます。場合によっては今までと同じかもしれません。そういう可能性を考えて少しずつ良い会にしていければと思います。今回は時間の関係で制作側からの意見がお聞きできませんでしたが後日改めてお話を聞ければと思います。

それではこれで本日の審議会を終わります。